

9月12日：ITセクターの好業績を受けVN指数は反発

ITセクターと銀行セクターを中心に買いが集まったことに加えて、米中貿易摩擦の進展があったことも加わり、ベトナム株は木曜日に上昇した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.7%上昇し976.07ポイントで取引を終えた。8月21日以来の大きな上昇となった。

VN指数は直近の2営業日で0.5%ほど下落し、9月に入ってから1.5%ほど下落していた。

出来高は1億4130万株で売買代金は3.26兆ドン(1億4050万ドル)であった。

IT、銀行セクターが最も大きく上昇した二つのセクターとなった。

ITセクターは4.3%上昇し前セクターの中で最も大きく上昇した。FPTが8月の売上と利益がそれぞれ17%、30%上昇し2.3兆ドンと4540億ドンに達したという発表を受けてのことだった。

FPTは1月から8月までの合計の売上が21%上昇、利益が28%上昇し、それぞれ17兆ドン、3兆ドンに達したと木曜日に発表をした。

年初来8か月の売上と利益は年間計画に対して4.2%と10.9%上回るペースだと同社は発表した。

FPTの株価は4.4%上昇し56500ドンで上場来高値を更新した。

自社株買いと資産売却を発表したことを受けていくつかの銀行株も大きく上昇し注目を集めた。

4900万株の自社株買いプランを発表したHDバンクは1.2%上昇した。

その前にはVPバンクが第4四半期に5000万株の自社株買いを発表していた。同社株は2%ほど上昇した。

ベティンバンク（CTG）は1.8%上昇、銀行が不良債権を売却するとの期待から2営業日で2.1%ほど上昇した。

米中貿易戦争に関して、激化していくことを望んでいないという様子が見られた米中両国からのコメントによって市場心理は改善されたとサイゴンハノイ証券は語った。

大型株、中型株、小型株のすべての指数が0.67%から1%ほど上昇した。

その他上昇したセクターは保険その他金融（+2%）、鉱業エネルギー（+1.6%）、小売り（+1.3%）、建設資材（+2%）、ゴム（+2.3%）であった。

モバイルワールドインベストメント（MWG）は1.5%上昇し116800ドンで取引を終えた。

SHSはデイリーレポートの中で、VN指数は上昇が続くと見込まれる。個別企業の好材料と流動性が改善することが条件となってくる。さもなければ、短期的な反発に留まるだろうと同社は予想した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.94%上昇し101.11ポイントで取引を終えた。同指数は水曜日に0.2%ほど上昇した。

出来高は2580万株で売買代金は4063億ドンほどであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。